

HIO 教区新報

発行所 淨土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
〔編集〕教区基委推広報部

2010.2 161号



左からパネラーの榎雲氏、高氏、金光氏、波多会長

青年僧侶の会が二〇周年 別院にて記念法要・シンポジウム開催

青年僧侶の会二〇周年記念シンポジウムが二月四日、本願寺神戸別院にて開催された。

「よろこび」というテーマを掲げ、活動を通しての「よろこび」と、さらに未来へ「つながる」よう願いをこめた。

○周年 ジウム開催

松村彰道教
樂の調べ」
年僧侶の会
五名が「ふ
「仏」他に樂
し、参加者
よい雅樂の
れた。
代社会にお
というテー
氏（作家）、
NHK教育
ろの時代」
ディレク
ター）、波
多正宣会
長をパネル
リストに、
栖雲深泥
氏（真宗大
谷派僧侶）
ショーンが行
われた。
司会が
問題提起
を行い、
僧侶、宗
門の現状
と未来へ
の課題を

述べ、その後三名のパネラーが、それぞれの立場から、自らの思うところを熱く語り合つた。

夕方より会場を移し、記念祝賀会が北野クラブ「ソラ」にて行われた。

初めてに、藤森行信氏（第二期会長）が会長時代の思い出話を交えながら開宴の挨拶と、乾杯の音頭をとつた。祝賀会中には歴代会長へのインタビュー、会発起人で発会当時の教務所長でもある蓮清典氏のビデオレターや、グループ「沙羅」によるコーラス、ジャズギタリスト須藤雅彦氏による演奏などが行われ、大盛況のうちに幕を閉じた。

参加した兀会長は、「僧会は、時代に流されず、自分達の問題意識を実践してきた。また、会場に展示してあつた三十年間の活動のパネルや会報誌を見て、様々な活動をしている事に驚かされた。

祝賀会でも歴代の方々をはじめ、様々な人との交流が出来てよかつた。」と語つた。

先日、あるご門徒様の
お宅に月忌参りに行つたときの事です。夏休みで、その日は小学生くらいのお孫さんがいました◆いつもの「讃仏偈」のお勤めが終わつた時にその子がポツリと「もう終わったの？早いね」と言いました。とつさにお母さんが申し訳なさそうに私の頭を下げるながら、子どもを別の部屋に連れて行きました◆子どもは正直です。私は、早く次のお宅の月忌参りに行かねばと、どこか上の空で早口にお勤めしていましたようで、その私の気持ちが子どもには伝わっていたようでした◆私達がお勤めしているお経は、遙か二千五百年程前にお釈迦様が説かれたお説法であり、印度、中国、日本と命がけで經典を伝えられた方々のご苦労の賜物であると聞いています◆今、釈尊のお説法に遇わせて頂いていたのです。一言一句、そのご恩をかみ締めながら大切にお勤めしなければと氣付かされたご縁でした。



教区だより

2月·3月

2月

- | | | | | | |
|--------|-----------------------------------|----------------|------------------|--|----------------|
| 21日(日) | 連研履修者研修会
単位仏社会長・寺院代表者研修会 | 10:30
10:30 | 6日(土)
7日(日) | 第1土曜仏教講座(山口教区川越正信師)
別院仏婦定例法座(兵庫教区光山道潤師) | 13:30
13:30 |
| 22日(月) | 平成21年度布教使研修会
特法協役員会 | 13:00
14:00 | 8日(月) | 第3回新坊守・坊守後継者の集い
組長ブロック長会 | 10:30
13:30 |
| 23日(火) | ビハーラ役員会
常備会 | 14:00
10:30 | | ビハーラー泊研修会(京都9日まで) | |
| 24日(水) | 蓮華会聞法のつどい(北陸25日まで) | | 15日(月) | 仏婦コーラス練習会
別院常例法座(兵庫教区川端正道師16日まで) | 10:30
13:30 |
| 25日(木) | 教区・中央キッズサンガ協議会
平成21年度教区同朋講師研修会 | 14:00
13:00 | 16日(火)
17日(水) | 別院仏事集い会
特法協総会・研修会 | 10:00
13:30 |
| 26日(金) | 門信徒会運動研修協議会 | 13:00 | 18日(木) | 144回定期教区会(予定) | 10:30 |
| 27日(土) | モダン寺土曜子ども会(料理の時間) | 10:00 | 20日(金) | 別院春季彼岸会(兵庫教区石田保孝師22日まで) | |

三目

- | | | | | |
|-------|------------------------|-------|--|----------------|
| 1日(月) | コーラスフェスティバル | 10:00 | 20日(木) 組織会議 | 11:00 |
| 3日(水) | 本廟寺布教同志会兵庫支部第10回布教神戸大会 | 9:30 | 30(火) 基礎講師団研修会
僧侶研修会(名古屋大学名誉教授 平川宗信師) | 10:30
13:00 |



本日で夜遅くまで打合せの実行委員

三月一日（月）本願寺
神戸別院を会場に「仏教
讃歌コーラスフェスティ
バル」が開催される。
このコーラスフェスティ
バルは、各地域・組のコー
ラスグループが日頃の練
習成果を披露する場であ
るとともに、一般の方に
も仏教讃歌に親しんでも
らおうという目的で、毎
年早春の時期に開かれて
いる。

各出演団体による合唱
のほか、午後の部後半に
は全出演者による合唱も
発表される◇受付／午前
十時◇午前十時三十分～
午後十五時まで◇参加費
千円（二名）／昼食不要
の方は参加費三百円（一
名）※参加費は当日お支
払下さい◇どなたでもご
参加いただけます。

参加団体は次のとおり。
▼野菊の会（高砂組仏教
婦人会）▼兵庫教区仏教
婦人会連盟▼コーロ・こ
うべ▼阪神西組合唱団▼
阪神東組香華コーラス▼

【問い合わせ先】
兵庫教区教務所◆電話／
○七八一三四一一五九四
九（コールス担当まで）
仏婦手帳販売中
平成二十二年版仏教女性手帳が発刊されました。
ご希望の方は教務所仏婦連盟事務局までご連絡下さい。
◆法話：花岡静人師（仏教婦人会総連盟講師）新「食事のことば」対応済
左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します
井上朋義（加古川組正願寺前住職）平成21年12月
11日79歳
武田勝行（阪神東組善念寺住職）平成21年12月17
日69歳
楠万千雄（赤穂南組妙道寺前住職）平成22年2
月1日83歳
2月11日現在
【敬称略】

全国真宗青年の集いを
神戸別院で8月6・7日に開催

仏教讃歌「一ラス フェステイバル

大震災総追悼法要

— 1. いのちの研修会 —

一月十七日、阪神・淡路大震災から、十五年目 恵里さん、神戸龍谷中学校の鈴木志



熱心にお聴聞する参挙者

わつた。
最後は全員で領解出言し、増井淨見
布教団副団長（赤穂北組淨蓮寺）の蓮寺）の参拝者は、淨土真宗の要話を聞けて有り

教覚寺）／ああ弘誓の強縁 多生にも値ひがたく◆山田秀英師（出石組高福寺）／難は疑情なり◆近藤龍樹師（加古川組普光寺）／宗祖聖人からの問い合わせ◆堀正昭師（揖龍西組明正寺）／私の歩む道◆高崎長英師（北撰組正光寺）／帰すべき所は明らか◆森川晋乗師（神姫組常徳寺）／道◆黒田真隆師（宍粟組安楽寺）／仏のみ名を聞くなかま◆本田勇慈師（岡山北組當林寺）／お育ての世界

第八回布教大会

二月一日(火)、兵庫教
区布教団主催の布教大会

団長)の挨拶で大会は開幕した。

が開催された。大会は今年で八回目を迎えた。迎え、神戸別院の本堂には二百名ちかくの人々がお聴聞に詰めかけ、満堂の中での布教大会となつた。

大会の司会・進行は軋保真澄さん（朝来組極楽寺）。真宗宗歌齊唱の後、松村彰道教務所長（布教

出講者の持ち時間は各々一座三十分。それぞれの出講者が各々の経験・味わい・語り口で、仏徳を讃嘆され、法味ゆたかに話された。

また、ゆうかり作業所（社会福祉法人いづみ福祉会）のパンとクッキーの出張販売もあり、休憩時には買い求める人で賑

難かつた。一日で沢山の布教使の方々のお説教を聴聞できるので良かつたなどと。また、一人三十分では短いぐらい、もつとお説教を聴きたかったと話される方も。

東須磨から来られた池本善一さんは、仏教壮大年会の方の紹介でこの布教大会のことを見た、多くのお説教を聴聞できて非常によかつたと話された。

◆別所法宣師（神戸湊組）

今大会出講の布教団員と講題は次の通り。



講演されるバイマーヤンジン氏

休憩を挟み、午後二時四十五分からは、震災の記憶を風化させないため、そして、震災で亡くなられた方々の命日をご縁として、あらためて「いのち」について問い合わせすることを目的に、「1・17いのちを考える研修会」が開かれた。

この日、神戸別院で「阪神・淡路大震災物故者総追悼法要」が勤まつた。震災で亡くなられた方々を偲んで集まられた参拝者は三百名を超え、本堂は満堂となつた。

法要は午後一時半より始まり、正信偈のお勤めが堂内に響く中、参拝者はお焼香をされた。

法要の後、須磨ノ浦女子高校の永野友貴さん、

の小林千夏さんによる「いのち」をテーマにした作文の朗読が行われた。作文では、それぞれが体験した「いのち」の経験や、その経験から感じたこと、考えたことが話された。永野友貴さんは、病で倒れた祖父が言葉を失つても、言葉をこえたまなざしで教えてくれたこと、「いのち」の大切さ、尊さについて話された。

ト声楽家・拓殖大学客員教授のバイマーヤンジン氏をお迎えした。

のか？死んでしまってからでは話は出来ない、生きて、元気にしているから電話をする。ただ一言で良いではないか。

報恩講
子どもの集い

度は遊び。コマ回しやバーレーンアート、スープーボールすくい（協賛／浜屋）などなど、子ども達は大はしゃぎだった。

念珠編みに一所懸命

キッズサンガ研修会

キッズサンガ研修会

～真剣に模擬花まつり～

難かつた。一日で沢山の布教使の方々のお説教を聴聞できるので良かつたなどと。また、一人三十分では短いぐらい、もつとお説教を聴きたかった

キッズサンガ研修会

～真剣に模擬花まつり～

して、どのように進行していくべきなのか？順序はどうすべきなのか？いやもうとなると気が引けてしまう：などの意見があつたため本研修では花まつりの進行プログラムを作成し、その台本どおりに模擬花まつりを行つた。

のか？死んでしまってからでは話は出来ない、生きて、元気にしているから電話をする。ただ一言で良いではないか。

その中で、孤独死や自死を防止することが出来たのではないか。

現代文明は決して人間のきずなを薄めているわけじやないです。人間の更なる交流・コミュニケーションを取れるようになっているはずです。

チベットでは人が会いに行くのに山を越えて何日もかかることがある、だから、亡くなつても判らなかつた・知らなかつたという事になるが、日本では絶対に防げるはずです。私は強くそれを信じています。ただ行動するかどうかのことです。」

異文化交流を通して、人間というのは受け入れるということから全てが始まる事、身をもつて体験した人間のつながりの話の中で、日本社会が抱える問題の解決への一筋の光を見た研修会となつた。

十二月二十六日（土）報恩講子どもの集いが戸別院で行われた。

集まつた子どもは百十五人、保護者とスタッフを含めると合計二百十九人での賑やかな報講となつた。

午前中は三階の本堂による献灯・献華・献茶の報恩講の法要。子どもによる献供の後、全員で正信盟委員長の法話があつた。来賓の拶の後、菊川義秀少年法要の部は終了した。

法要の次は、お待ちねの昼食。少年連盟スタッフを中心に、仏教婦人へ福音講の会、仏教社年会、門徒会、寺族婦人会、青年僧侶会、仏教婦人会、青年僧侶会、仏教社年会、門徒会、進員の皆さん、カレーニューオーランチ等、沢山手作りの食事でおもてしされた。

度は遊び。コマ回しやバーレーンアート、スーパーボールすくい（協賛／浜屋）などなど、子ども達は大はしゃぎだった。

一時半からは、プロのマジシャン、ジルバ中井氏による手品ショーで、大人も子どもも大喜びだった。

手品の後は、親の部と子どもの部で会場を別れ、三階の本堂では季平博昭師（基幹運動推進相談員）による「法話」、一階のホールでは少年連盟スタッフによる劇「ほうきの教え」が上演された。子ども達は本格的な衣装、BGMの劇にびっくり。閉会式では、皆で恩徳讚を齐唱して、今年の報恩講子ども集いは終了した。

最後には蓮華会副会長出田求さんの畠で採れた大根をお配りし、手にした大きな大根に子ども達は驚いていた。

初参加の大西司龍くん、二回目参加の大西司馬くんの兄弟は「ゲームや劇、手品がとても面白かった。また来年も来たい」と満足気に話した。